



あら き
荒木校区の
文化財マップ

久留米市

荒木校区の文化財

荒木という地名が最初に見えるのは、平安時代に書かれた『和名抄』^{わ みょうしょう}です。しかし、人々のくらしは、それ以前のはるか縄文時代からはじまっていました。

藤田にある天神浦遺跡や狐坂遺跡・六反田遺跡からは縄文時代の石器がたくさん見つかっています。これらの遺跡がある高良台は狩猟場だったのでしよう。

弥生時代になると、寺脇遺跡などで集落跡が見つかっています。一方、墓地は一の左右遺跡や寺脇遺跡一帯にありました。一の左右遺跡のお墓には、1,644個ものガラス玉が供えられていました。また、広川沿いの鬼木遺跡・天神浦遺跡からは、当時貴重だった青銅器(銅矛)が数多く出土しています。

古墳時代には今宮脇遺跡や旗原遺跡・二子塚遺跡などで竪穴住居が発見されています。旗原遺跡から出土した須恵器には、八女地方で生産されたものがあり、他地域との交流もうかがえます。また、二子塚古墳や鷺塚古墳などは、全長が50m程の前方後円墳であったようです。これらは、『日本書紀』に登場する「水沼君」^{みぬまのみみ}という豪族のお墓と考えられています。

奈良時代には、筑後国三潴郡に属していました。荒木郷の中心地は、現在のJR荒木駅西側一帯だったと思われます。付近には、白口経塚遺跡や西ノ原遺跡があります。校区の東端部には、南北方向に古代官道「西海道」が走り、同じく南部を広川が東から西へ流れており、水陸交通の要所でした。

平安時代以降は、筑後地区最大の荘園である三潴庄に属しました。鎌倉時代になると御家人の荒木近藤氏が活躍します。荒木の立小路遺跡は、同氏の館跡と考えられています。また、その東側にある小寺遺跡からは、館へ向かう道路跡や建物、中国から輸入された陶磁器・銅銭などが出土しており、付近一帯が館を中心に大変にぎわっていたことが想像されます。

このほかにも、荒木校区にはたくさんの遺跡や文化財があります。その分、まだまだわからない謎もたくさんあるのです。

さあ、この文化財マップを片手に時間旅行へ出かけてみませんか？



荒木小学校玄関のミニ博物館

■こんなにあるぞ! 荒木校区の文化財

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	糖尾東古墳 <small>かすお</small>	古墳	規模や構造は不明。現在はありません。
2	糖尾西古墳 <small>かすお</small>	古墳	規模や構造は不明。現在はありません。
3	南巻崎遺跡	弥生	土取りの時に弥生土器がたくさん出土したようです。
4	陣山古墳	古墳	規模や構造は不明。現在はありません。
5	筒川遺跡	弥生	高床の建物跡や溝が確認されました。
6	三反田遺跡	奈良～平安	住居跡や土師器が見つっています。
7	名剣塚古墳 <small>みよづけんづか</small>	古墳	周溝を持つ古墳でしたが、現在はありません。
8	白口中村遺跡	室町?	一木但馬守の館跡と伝えられます。
9	白口西屋敷遺跡	室町	建物跡や溝が見つっています。
10	松茸山遺跡	弥生	弥生土器が見つっています。
11	源右衛門城戸遺跡	平安	溝や柱穴から土師器が出土しました。
12	南屋敷遺跡	室町	室町時代の土器が見つっています。
13	寺屋敷遺跡	不明	土師器が見つっています。
14	福田遺跡	弥生、奈良～平安	弥生土器や土師器が見つっています。
15	籠島遺跡	奈良～鎌倉	土師器や青磁が見つっています。
16	白口経塚遺跡	飛鳥～鎌倉	住居跡やゴミ穴から、丹塗りの土師器など、たくさんの土器が見つっています。
17	西ノ原遺跡	弥生、平安	弥生時代後期の溝・住居跡・甕棺墓、奈良時代の円面硯が出土しています。
18	西ノ原古墳	古墳	規模や構造は不明。現在はありません。
19	追敵遺跡 <small>おいでき</small>	弥生、平安	溝が確認され、弥生土器や土師器が出土しました。
20	二子塚古墳	古墳	荒木小学校の北側にあった全長約50mの前方後円墳です。埴輪が出土しています。昭和初期に壊されました。
21	二子塚遺跡	弥生～近代	古墳～飛鳥時代の住居跡や高床倉庫、奈良時代のゴミ穴、室町時代～近代の溝などがあり、たくさんの土器が出土しています。
22	宮原遺跡	弥生	弥生時代前期の溝や甕棺墓が見つっています。
23	荒木今宮脇遺跡	古墳～平安	火災にあった古墳時代の住居跡などが見つっています。
24	鬼木遺跡	弥生～平安	弥生時代の溝やゴミ穴が見つっています。江戸時代には広形銅矛1本が出土したことで有名です。
25	鬼木1号墳	古墳	規模や構造は不明。現在はありません。
26	鬼木2号墳	古墳	規模や構造は不明。現在はありません。
27	寺脇遺跡	弥生～鎌倉	住居跡や甕棺墓が見つっています。
28	寺脇古墳	古墳	規模や構造は不明。現在はありません。
29	横小路遺跡 <small>よこしょうじ</small>	平安～室町	土師器がたくさん見つっています。

30	よこしょうじ 横小路古墳	古墳	規模や構造は不明。現在はありません。
31	あらひとかみ 現人神古墳	古墳	径15mの円墳で、現在も残っています。
32	たちしょうじ 立小路遺跡	鎌倉～室町	鎌倉御家人である荒木近藤氏の館跡で、輸入した青磁や白磁などが出土しています。
33	七ツ枝遺跡	平安？	条里制に関係する遺跡と思われる。
34	りゅうげ 立毛古墳	古墳	規模や構造は不明。現在はありません。
35	はたんばる 旗原遺跡	古墳～奈良	住居跡や高床倉庫、建物、ゴミ穴、溝などが見つかかり、たくさんの土器が出土しています。
36	いちさう 一の左右遺跡	弥生～古墳	弥生時代の甕棺墓や土壙墓が多数見つかかりました。古墳時代の住居跡も確認されています。
37	ほかの 外野遺跡	江戸	江戸時代の溝や井戸、ゴミ穴などが見つかかりました。
38	坂ノ上古墳	古墳	径10mの円墳ですが、ほとんど原型をとどめません。
39	くるまじ 車路古墳	古墳	観音堂付近にありましたが、現在はみられません。
40	長池遺跡	古墳～奈良	土師器や須恵器が見つかっています。
41	大寺遺跡	不明	かつて寺院があったと伝えられます。
42	こでらいせき 小寺遺跡	鎌倉～室町	建物跡や井戸、道路跡などが確認され、輸入した陶磁器や銅銭が見つかっています。
43	わしづか 鷲塚古墳	古墳	全長50mほどの前方後円墳です。須恵器や土師器のほか、前方部付近から青銅鏡が出土しています。
44	いずみかみ 出水ノ上遺跡	弥生、鎌倉	弥生時代後期の甕棺墓や鎌倉時代の青磁などが見つかっています。
45	豆塚古墳群	古墳	かつて6基以上の古墳がありましたが、現在ほとんど残っていません。
46	才観塚遺跡	縄文	矢じりなどの石器が採集されています。
47	才観塚古墳	古墳	規模や構造は不明。現在はありません。
48	六反田遺跡	縄文	石槍などの石器が採集されています。
49	天神浦遺跡	弥生	江戸時代に13本の中広銅矛が出土しています。従来18本とされていましたが、残りの3本は南西約500mの位置にある田代堤(広川町)から出土したことが判明しています。
50	狐坂遺跡	縄文	矢じりや石匙などの石器が採集されています。
51	西海道跡	奈良～室町	各国と大宰府を結ぶ道路で、路面幅は約9mもあります。そのルートの一部は、現国道209号線と重なっています。
52	ピゴ塚	戦国	近藤備後守の墓といわれ丁寧に祀られています。
53	下荒木宮脇遺跡	古墳～平安	須恵器や土師器が見つかっています。

■ 貴重な指定文化財たち

No.	指定文化財の名前	指定の区分	こんな文化財です
54	白口の地藏菩薩彫像 板碑(市指定)	有形民俗文化財	自然石に仏像を半肉彫りにしたものです。左手に宝珠、右手は予願印を結んでいます。その左右には応永十一年(1404)の銘のほか、願主などの名前が列記されています。

■荒木校区の歴史年表

時代	西 暦	荒木校区のできごと	日本のできごと
旧石器			狩りや漁・採集などで生活する
	10,000		土器や弓矢を使い始める
	6,500	高良台で狩りが盛ん	日本列島がほぼできあがる
縄文	3,500		
	400		稲作が伝わる
弥生	B.C.	宮原遺跡に人々が住む	
	A.D.	鬼木遺跡に大きなムラができる 天神浦遺跡に銅鉾が埋められる	倭国大乱 卑弥呼が邪馬台国を治める
古墳	300	一の左右遺跡にムラが作られる	古墳が造られ始める
	400		
飛鳥	600	二子塚・鷲塚・豆塚古墳など、大きな古墳が築かれる 旗原遺跡	磐井の乱(527) 仏教伝来(538)
	700		大化の改新(645)白村江の戦い(663) 藤原京に都を移す(694) 平城京に都を移す(710)
奈良		白口経塚遺跡(荒木郷の中心) 西海道が整備される	平安京に都を移す(794)
平安			鎌倉幕府の成立(1192)
鎌倉	1,200	荒木近藤氏の活躍	室町幕府の成立(1336)
室町	1,400	白口の地蔵菩薩彫像板碑が作られる (1404年)	応仁の乱おきる(1467)
桃安山土	1,600	小寺遺跡の繁栄	豊臣秀吉の天下統一 江戸幕府の成立(1603)
江戸	1,800		明治維新(1868)

荒木校区

ぐるっと文化財

みどころ

白口の地蔵菩薩彫像板碑

西鉄バス「白口」停留所下車、西へ徒歩3分。道路北側の祠に祀られています。

荒木小学校所蔵遺物

市立荒木小学校玄関に展示コーナーがあります。事務室に見学を申し出てくださいと、二子塚古墳出土埴輪をはじめとする所蔵品を見ることができます。

鷺塚古墳

鷺塚公園の東側、納骨堂の東裏手に、後円部の一部が残っています。案内板と、模型の円筒埴輪を設置しています。

ビゴ塚

高良台保育園の南にあります。地元では近藤備後守の墓と伝えられており、現在も丁寧に祀られています。



あら き

荒木校区の文化財マップ



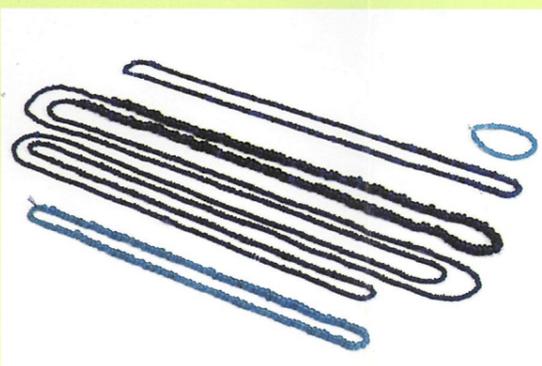
20 二子塚古墳の円筒埴輪
6世紀後半のものと考えられています。



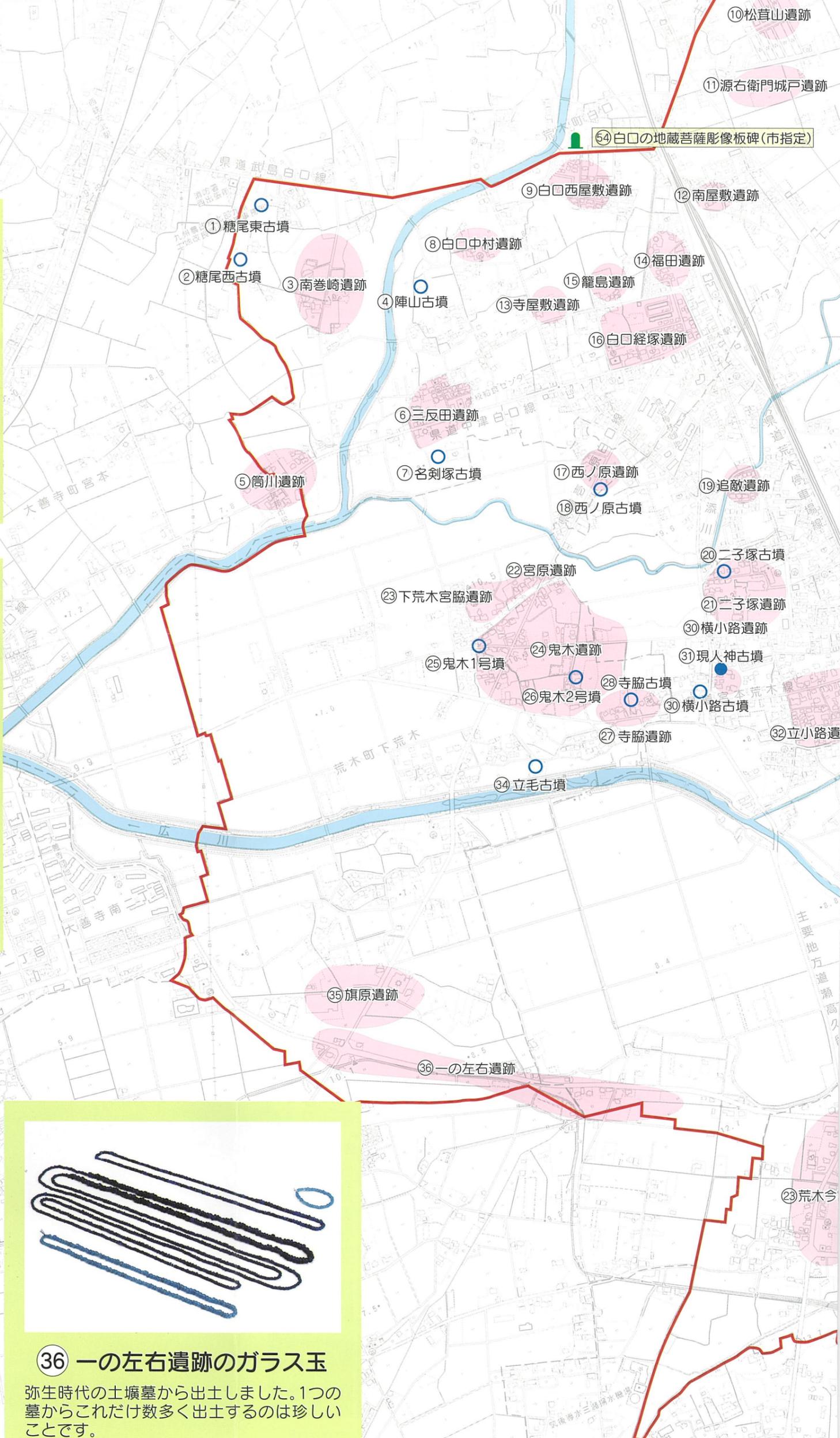
21 二子塚遺跡(第5次調査)
二子塚古墳に隣接する荒木小学校敷地内から、6世紀後半から7世紀初頭の竪穴住居や、屋敷地を取り囲む室町時代の溝が発見されました。



35 旗原遺跡(第2次調査)
古墳時代～奈良時代の大集落です。この調査だけで、竪穴住居26軒、掘立柱建物14棟が発見されました。

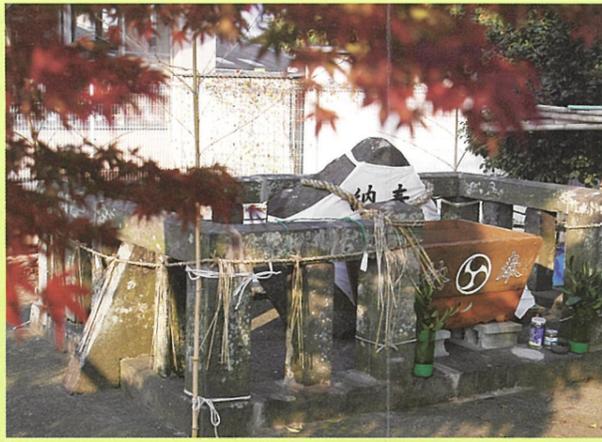


36 一の左右遺跡のガラス玉
弥生時代の土壠墓から出土しました。1つの墓からこれだけ数多く出土するのは珍しいことです。





54 白口の地蔵菩薩
彫像板碑(市指定)



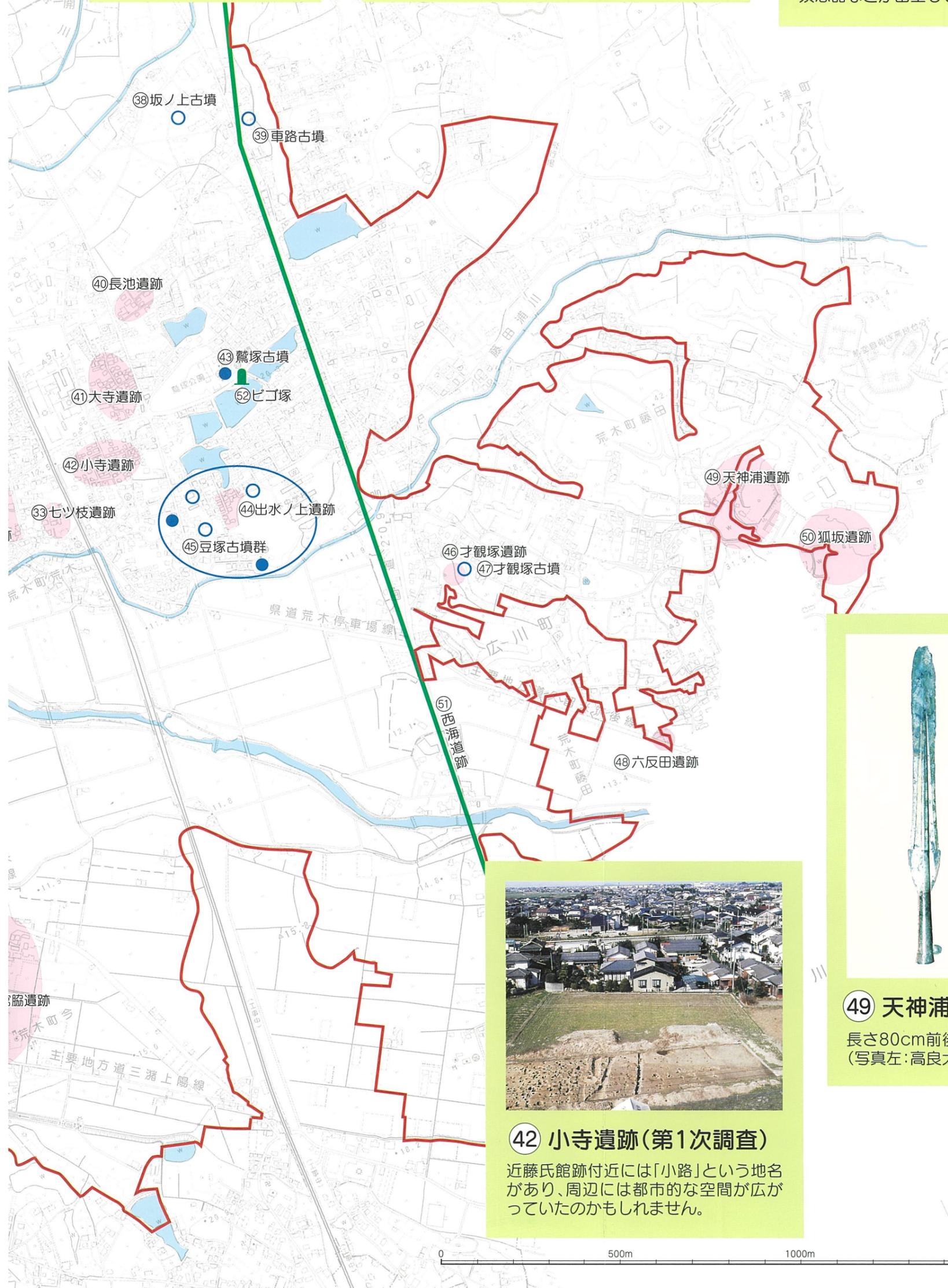
52 ビゴ塚

元龜三年(1573)銘のある、自然石を利用した逆修板碑です。近藤備後守の墓と伝えられています。



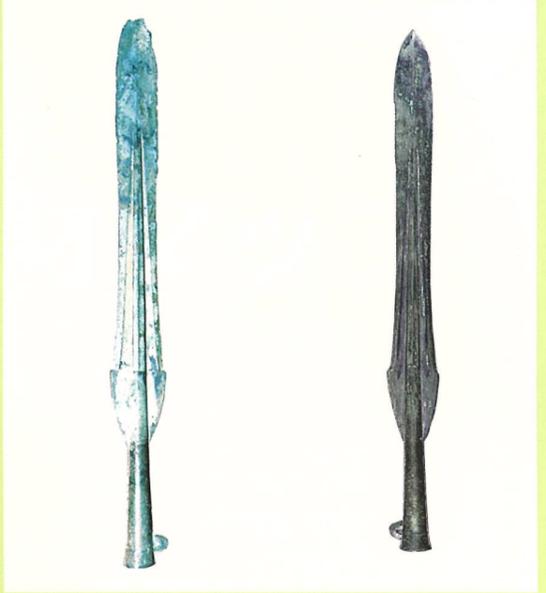
43 鷺塚古墳

6世紀の古墳です。昭和20年代後半ころ壊されましたが、後円部の一部が残されています。青銅鏡や須恵器などが出土しています。



凡例

- 主な遺跡
- 今も残る古墳
- なくなった古墳
- 古墳群の広がり
- 石碑・石造物
- 指定文化財
- 荒木校区の範囲



49 天神浦遺跡出土の中広銅矛

長さ80cm前後。現存するのは4口のみです。(写真左:高良大社・同右:秋葉神社蔵)



42 小寺遺跡(第1次調査)

近藤氏館跡付近には「小路」という地名があり、周辺には都市的な空間が広がっていたのかもしれない。



久留米市埋蔵文化財センターのご案内



市内の遺跡から出土した土器や石器・金属器などの遺物をはじめ、発掘調査や整理作業の際に作成した図面・写真などの記録類を収蔵・整理・研究するための施設です。

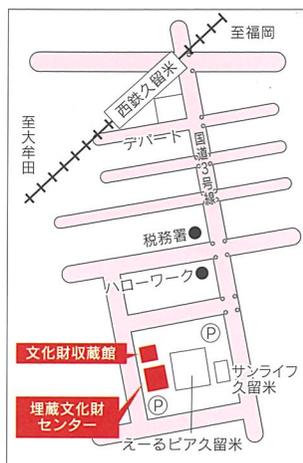
当センターでは、資料の貸し出しや閲覧、文化財に関するご相談にも応じています。また、毎年秋には「考古資料展」を開催し、収蔵資料の公開を行っています。

ふるさとの歴史に関心をお持ちのみなさん、ぜひお越しください。お待ちしております。

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：土日・祝祭日・年末年始

入館料：無料



■文化財についてのお問い合わせは

久留米市市民文化部 文化財保護課
久留米市城南町 15-3 (市役所 12 階)
☎0942-30-9225 FAX 0942-30-9714
E-mail : bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

久留米市埋蔵文化財センター

久留米市諏訪野町1830-6(えーるピア敷地内)
☎0942-34-4995 ☎0942-34-5045

荒木校区の文化財マップ

平成21年3月31日改訂

発行：久留米市

編集：市民文化部 文化財保護課

〈表紙〉鷲塚古墳出土の青銅鏡